

## 河南方言のアスペクト助詞の用法について

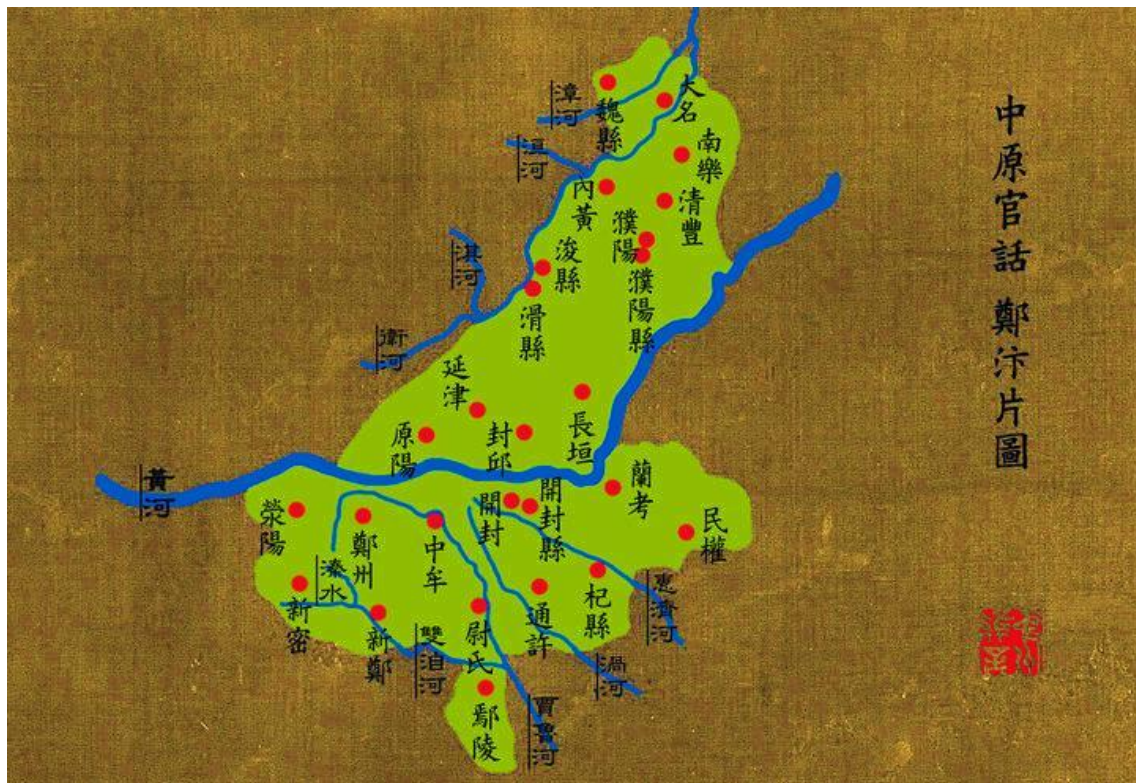
### —中原官話鄭開片の場合—

楊華

#### 1. はじめに

ここでとりあげる中原官話鄭開片方言とは、河南省(22)と河北省(2)の24の県と市の行政地域<sup>1</sup>で話されていることばで、中原官話鄭開片とは河南省の鄭州市と開封市を中心とした方言区である。《中国語言地図集》では、黄河流域の中原地域に位置している河南省の方言は、北の一部(安陽・新郷など)は晋語方言区に属しているが、他の地域はすべて中原官話区とされている。中原官話区は中国の八つの官話区の中で、最も地理的に範囲が広いと言われており、山東から河南、安徽、江蘇、河北、山西、陝西、甘肅、寧夏、新疆、青海の11の行政省、区にまたがっている。そのうち河南省は最も主要な地域である。賀巍(2005)は、中原官話の音声特徴によって、山東、河南、安徽、江蘇、河北の五省内の中原官話を八つの区域に再分類した。本稿では中原官話の鄭開片【図】<sup>2</sup>に焦点をあて、そのアスペクト助詞の用法について考察してみたい。

#### 【図】



#### 2. 中原官話鄭開片の主なアスペクト助詞

中国語のアスペクトについては、これまでに数多くの先行研究が発表されている。ギリシャ語、スラブ語に端を発したアスペクトという概念が現代中国語の文法論に導入されて

以来、現代中国語のいくつかの文法現象をアスペクトという文法的なカテゴリーによってとらえようとする研究が行われてきた。言語生活をしている人類にとって普遍的な時間意識の表現であるアスペクトという概念が世界の多くの言語にみとめられている。しかし、アスペクトの意味を表現している言語の手続きとして、いくつかのレベルが考えられる。語彙的意味のレベルに関するもの、語彙形態論的なレベルに関するもの、動詞の形態論的なレベルに関するもの、語彙統語論的なレベルに関するものなどが考えられる。アスペクトという概念のとらえ方は各言語により、各レベルにより一様ではないのである。中原官話鄭開片の方言の中では、中国語普通話とアスペクトの表現形式との共通点が数多く確認できるが、相違点も数多く見られた。

そこで、本稿は河南方言のアスペクト助詞を中心に、その用法を紹介すると同時に、普通話とどのように違うのかを考察してみたい。中原官話鄭開片でよく使われているアスペクト助詞は以下の通り、主に完了相、継続相、実現相、将然相、経験相などのアスペクト的な意味<sup>3</sup>をあらわす。

1)[lɛ] : ①継続相 : a)動作の進行 b)状態の持続、②「V1[lɛ]V1[lɛ]、V2～」の形で、将然相(実現見込みなしの場合も含む)

2)著[tʂu] : 継続相 : a)状態の持続 b)動作の進行

3)啦[la] : ①完了相・実現相、②継続相の状態の持続、③将然相

4)啍[lau] : 実現相

5)过[kuɤ] : ①経験相、②実現相

### 3. 中原官話鄭開片のアスペクト助詞の用法特徴

2. で列挙した(1)~(5)のアスペクト助詞の用法について、用例などを通じて分析してみたい。

#### 3.1[lɛ]

[lɛ]は先行研究の中では、“嘞”か“哩”と表記され、河南方言の中で最もよく使われている助詞の一つである。構造助詞(的、地、得)、語気助詞(呢)に加え、アスペクト助詞として文法的な意味をあらわしている。アスペクト的な意味としての[lɛ]は主に継続相(動作の進行と結果状態の持続)と将然相としての用法がある。

##### 3.1.1 動作の進行

(1) 你吃饭[lɛ]? ⇒你吃着饭呢?

(ご飯を食べていますか。)

(2) 我往恁那儿去[lɛ]。⇒我在往你们那儿走呢。

(あなたのところに向かっている最中です。)

(3) 老王搁家炒菜[lɛ]。⇒老王正在家里炒菜呢。

(王さんは家でご飯を作っています。)

(4) 我上午一直搁这儿看书[lɛ]。⇒我上午一直在这里看书来着。

(わたしは午前中ずっとここで本を読んでいた。)

(5) 他还搁那儿哭[lɛ]。⇒他还在那儿哭呢。

(彼はまだあそこで泣いている。)

馬慶株(1981)のいう非持続性動詞はほとんど[lɛ]と共起しないが、“来”“去”“回”のような移動動詞は[lɛ]と共起できる。辛永芬(2006)は、河南省の北部の浚県(晋語片)方言の中にも“来・去”は“嘞”と共起できると指摘している。用例(1)~(5)の[lɛ]は、「~しているところだ」という動作の進行をあらわす。ここでの[lɛ]は普通話の「着, 着呢, 呢」の用法とよく似ている。

### 3.1.2 結果状態の持続

(6) 墙上贴[lɛ]张画儿。⇒墙上贴着一张画儿。

(壁に絵が貼ってある。)

(6') 那张画儿搁墙上贴[lɛ]。⇒那张画儿在墙上贴着呢。

(あの絵は壁に貼ってある。)

(7) 沙发上躺[lɛ]一[iuə]老汉儿。⇒沙发上躺着一个老人。

(ソファに老人が寝ている。)

(8) 他穿[lɛ]件儿新毛衣。⇒他穿着一件新毛衣。

(彼は新しいセーターを着ている。)

(9) 我[lɛ]包搁那儿放[lɛ]。⇒我的包在那里放着呢。

(私の鞆はあそこに置いてある。)

「V+[lɛ]+O」のかたちで結果状態の持続をあらわす。静態存現文にこのような構文が多く見られる。(6')と(9)の用例のように、「S+搁場 N+V[lɛ]」のかたちもある。馬慶株(1981)のいう弱持続性動詞のB類はその大部分が[lɛ]と共起することによって、動作の結果状態をあらわすが、その中の“开, 关, 锁, 点”などは[lɛ]と共起しない一部の動詞もある。

(10) 那儿关[lɛ]两扇儿门儿。⇒那儿关着两扇门。

(そこに二つの扉が閉まっている。)

(10') \*我们教室的门儿搁那儿关[lɛ]。

(11) 房间里开[lɛ]两盏灯。⇒房间里开着两盏灯。

(部屋に電気が二つ点いている。)

(11') \*我们教室的灯搁那儿开[lɛ]。

“开, 关, 锁, 点”などは[lɛ]と共起する場合もあるが、以下の例 a 例 b のように、「結果状態の持続」という意味は持っていない。

a. 他关[lɛ]门。⇒他关的门。(彼がドアをしめたのよ。)

b. 他开[lɛ]灯。⇒他开的灯。(彼が電気を点けたのよ。)

a. b. のいずれも行われた事態の確認という意味の用法で、動作の結果状態の持続という意味をあらわさない。動作の結果状態の持続をあらわす場合、c. d. のように、[lɛ]を文末に置き、動詞には他のアスペクト助詞の“著”をつけなければならない。

- c. 他关著门[lɛ]。⇒他关着门呢。(彼のところのドアが閉まっている。)
- d. 他开著灯[lɛ]。⇒他开着灯呢。(彼のところの電気が点いている。)

### 3.1.3 将然相

[lɛ]が将然相の意味をあらわす場合には、二つのタイプがある。(12)(13)のように、確実にこれから実現しようとする事態の場合と、(14)(15)のように、実現しようとしていたのに、実現しなかった事態をあらわす場合とがある。

(12) 图书馆儿关门儿[lɛ]，咱赶快走吧。⇒图书馆马上就要关门了，咱们快走吧。

(図書館はもうすぐ閉まるので、早く帰ろう。)

(13) 宿舍熄灯[lɛ]，快上床睡吧。⇒宿舍快要熄灯了，快上床睡吧。

(宿舍はもうすぐ消灯するので、早く寝てください。)

(14) 吃[lɛ]，吃[lɛ]，你咋睡啦？⇒刚才还说要吃饭，你怎么睡觉了？

(食べようとしていたのに、なんで寝てしまったの？)

(15) 走[lɛ]，走[lɛ]，他又坐那儿吃开了。⇒刚才还说要走，他又坐在那儿吃起来了。

(行こうとしていたのに、またそこで食べ始めた。)

「V1[lɛ]V1[lɛ]V2～」の形で、「～しようとしていたのに、～」という実現しなかった将然相の意味をあらわす。

## 3.2 著[tʂu]

アスペクト助詞の「著」のほとんどの用法は中国語普通話の「着」と同じである。「着」の起源については、多くの先行研究があり、梅祖麟(1989)、蔣紹愚(2006)は、「着」の通時的な用法をまとめている。もともと動詞の「付着する」を起源とする「着」は、近代語では「著」と表記されていたが、現代語になって、結果補語として使われる場合は「住」で、アスペクト助詞として使われる場合は「着」と表記するようになった。河南方言の中では「住」と「著」の発音が同じで、「着」とは発音しない。したがって、ここでは「著」と表記することにしたい。河南方言の中で、著[tʂu]は動作の進行、状態の持続というアスペクト的な意味をあらわす。

### 3.2.1 動作の進行

(16) 他还搁那儿吃著饭[lɛ]。⇒他还在那里吃着饭呢。

(彼はまだあそこで食事をしています。)

(17) 你说吧，我听著[lɛ]。⇒你说吧，我听着呢。

(言ってごらんさい。わたしは聞いています。)

著[tʂu]で動作の進行をあらわす用法は(16)(17)のように、多くは[lɛ]と共起しなければならない。これらの用法の中には「著」を省略することも可能であるが、[lɛ]の省略はできない。「著」をつけることによって、強調する意味を加えていると考えられる。

### 3.2.2 状態の持続

(18) 墙上贴著一张画儿。⇒墙上贴着一张画儿。

(壁に絵が貼ってある。)

(18') 那张画儿搁墙上贴著[lɛ]。⇒那张画儿在墙上贴着呢。

(あの絵は壁に貼ってある。)

(19) 门儿关著[lɛ]。⇒门关着呢。

(ドアは閉まっている。)

(20) 你开著门儿吧。⇒你开着门儿吧。

(ドアを開けておいてください。)

結果状態の持続をあらわす場合、多くの用例は[lɛ]と共起する。例(18')と例(19)は[lɛ]がないと、非文か他の意味をもつ文になり、本来の持続の意味が消えることになる。なお、例(20)のような命令・願望文は「著」が多く使われている。例(18)は話し言葉として使われる場合、「著」はほとんど省略して発話するが、改まった場面や強調する場合には「著」をつける。

次の例(21)～例(24)は「形容詞+著」の用法で、「動詞+著」の状態持続のアスペクト的な意味からモーダル機能に文法化したものと考えられる。沈力(2012)は、山西省の方言の中にも[ZHE2]には同様の用法があると指摘している。山西省方言の中では、[ZHE2]のモーダル機能は程度確認の意味と仮定の意味が確認できたが、河南方言では、程度確認の意味しかない。しかも程度が甚だしいとの意味をあらわすのみである。

(21) 他说[lɛ]对著[lɛ]。⇒他说得可对了。

(彼の話はごもつともだ。)

(22) 他对老人好著[lɛ]。⇒他对老人好着呢。

(彼は年寄りにとても親切だ。)

(23) 它[lɛ]好处多著[lɛ]。⇒它的好处多着呢。

(このもののいいところは数多くある。)

(24) 夏天喝冰镇啤酒，得劲著[lɛ]。⇒夏天喝冰镇啤酒很爽。

(夏に冷えたビールを飲むのはとても気分爽快である。)

この用法は「A 著[lɛ]」というかたちで表現しなければならない。「著」と「[lɛ]」のどちらも省略することができない。

### 3.3 啦[lɑ]

啦[lɑ]は普通話の「了」と同じ用法で、動作の完了をあらわす「啦」は普通語の動詞の後に置く「了<sub>1</sub>」と同じアスペクト的な意味をあらわし、本稿では「啦<sub>1</sub>」とする。また、事態の実現、変化をあらわす「啦」は文末に置き、「了<sub>2</sub>」と同じ役割を果たし、本稿では「啦<sub>2</sub>」とする。

#### 3.3.1 動作の完了と事柄の実現・変化

(25) 我给啦<sub>1</sub>他三本书。⇒我给了他三本书。

(私は彼に本を三冊あげた。)

- (26) 我买啦<sub>1</sub> 两斤馍。⇒我买了两斤馍。  
 (私はマントウを一<sup>キ</sup>買った。)
- (27) 昨天我看啦<sub>1</sub> 两个小时书。⇒昨天我看了两个小时书。  
 (昨日私は2時間本を読んだ。)
- (28) 我找他找啦<sub>1</sub> 两天啦<sub>2</sub>, 还有找见他。⇒我找他找了两天了, 还没有找到他。  
 (私は彼を二日間探していたが、まだ見つかっていない。)
- (29) 我吃完饭啦<sub>2</sub>。⇒我吃完饭了。  
 (私はご飯を食べ終えた。)
- (30) 他结过婚啦<sub>2</sub>。⇒他结过婚了。  
 (彼は結婚した。)
- (31) 我吃三碗了[liau]啦<sub>2</sub>。⇒我都吃完三碗了。  
 (私はもう三杯も食べた。)
- (32) 晚饭我做好啦<sub>2</sub>。⇒晚饭我做好了。  
 (夕飯はもう用意できた。)

(25)~(28)の用例の中の「啦<sub>1</sub>」は河南方言の中では、いずれも省略することが可能である。辛永芬(2006)や賀巍(1965)は、河南省浚県方言、獲嘉方言にこのような現象が見られ、「了<sub>1</sub>」の使い方は両方言区には存在していないとし、動詞の「D 変韻」によって、アスペクト的な意味をあらわしていると指摘した。中原官話鄭開片の会話の中では「啦<sub>1</sub>」を使わない場合も多く見られた。

### 3.3.2 動作の結果状態の持続

- (33) 墙上挂啦<sub>1</sub> 一幅画儿。⇒墙上挂了一幅画。  
 (壁に絵がかけてある。)
- (34) 车里头坐啦<sub>1</sub> 俩小孩儿。⇒车里坐了俩小孩儿。  
 (車に子供が二人座っている。)

「場所 N+V 啦+モノ N・ヒト N」で結果状態の持続をあらわし、この用法の「啦」もふつうは省略することができる。静態存現文は普通話の中でも「V 着」「V 了」の二つのアスペクト助詞であらわすことができるのに対して、河南方言では三つのアスペクト助詞であらわすことができる。アスペクト助詞を使わずに表現することもできるのに加えて、鄭開片の方言は以下のように、四つの形で動作の結果状態をあらわす用法がある。

- i 墙上挂[lɛ]一幅画儿。⇒墙上挂 着/了 一幅画。(⇒墙上挂的是一幅画儿。)
- ii 墙上挂著一幅画儿。⇒墙上挂著一幅画。
- iii 墙上挂啦<sub>1</sub> 一幅画儿。⇒墙上挂了一幅画。
- iv 墙上挂一幅画儿。⇒墙上挂 着/了 一幅画。

ii と iii は普通話の「V 着」「V 了」静態存現文と対応している。用例 i の助詞[lɛ]は河南省方言の中ではさまざまな意味を持つ。構造助詞の「的、地、得」<sup>4</sup>などの発音も同じなので、存現文の中に使われている[lɛ]は存在しているモノが何であるかを確認する意味も持っている

る。

### 3.3.3 将然相

(35) 我走啦<sub>2</sub> (啊)! ⇒我走了啊。

(もう行くわよ。)

(36) 我关灯啦<sub>2</sub> (啊)! ⇒我关灯了啊。

(電気を消しますよ。)

(37) 快 12 点啦<sub>2</sub>, 你还不快回家。⇒快 12 点了, 你还不快回家。

(もうすぐ 12 時になるので、早く家に帰ってください。)

(38) 马上毕业啦<sub>2</sub>, 你咋还有不及格[lɛ] [lɛ]。⇒马上就要毕业了, 你怎么还有不及格的呢?

(もうすぐ卒業なのに、なんでまだ不合格科目があるのよ。)

(39) 走啦<sub>2</sub>, 走啦<sub>2</sub>, 别看啦<sub>2</sub>。⇒走了啊, 走了啊, 别看了。

(そろそろ行きましょう。もう見るのをやめなさい。)

普通話の「快(要)・・・了」の将然相の用法と同じであるが、普通話では主に「快, 要, 就, 将」などの副詞を使って、「まもなく～する」という動作の段階を表し、将然のアスペクト的な意味をあらわす。河南方言では、例(35)(36)のように、副詞をつけなくても、将然の意味をあらわす用法もある。ただこの場合、通常一人称が主語である。一人称以外の場合には[lɛ]を使う。(cf 他走[lɛ], 你[lɛ]? ⇒他要走了, 你呢?) また、(39)のように、繰り返しの場合は相手に「～するように」と催促する意味が含まれる。

### 3.4 啱[lau]

陳鵬飛(2005)は、河南林州方言(晋語片)の“了”の用法を分析し、[lau]は“了”の音変の一つのタイプであると指摘した。鄭開片方言では、[lau]は主に完成相のアスペクト助詞として使われ、「啦」との用法に違いが見られるので、本稿では、「啱」と表記し、アスペクト助詞の一つとして取り上げて、項目を立てた。

(40) 他死啱都快半年啦。⇒他死了快半年了。

(彼が死んでもうすぐ半年だ。)

(41) 我吃啱饭啦, 你吃啱冇? ⇒我吃完饭了, 你吃完了没有?

(私はご飯を食べ終えたが、君は?)

(42) 我作业已经写啱半个小时啦。⇒我作业已经写完了半个小时了。

(私は宿題をやり終えてもう 30 分経ちましたよ。)

(42') 我作业已经写啦半个小时啦。⇒我作业已经写了半个小时了。

(私は宿題を 30 分しています。)

(43) 你把那碗饭吃啱吧。⇒你把那碗饭吃了吧。

(そのご飯を食べなさい。)

用例(40)～(42)までは完了の意味を表している。非持続動詞「死」の場合は「啦」との違いが見られないが、弱持続動詞の場合は「啱」を使うと、「～V 完」の意味が加わってくる。

他のアスペクト助詞と比べて、実質的な意味がまだ多少残されている。(42)と(42')では「啱」と「啦」は使い分けられているが、「啱」の方は完了の意味が強い。例(43)は命令文で、「全部食べなさい」との意味が含まれている。

「啱」は以上のアスペクト助詞としての用法もある一方、さらにモーダル的な意味に文法化した用法もある。主な用法としては、仮定と可能を含意する場合である。

(44) 吃啱饭，咱去瞧电影吧。⇒吃了饭，咱去看电影吧。

(ご飯を食べたら、映画を見に行こう。)

(45) 你到哪儿啱，给我来个电话。⇒你到了哪儿，给我来个电话。

(向こうについたら、電話をください。)

(46) 不啱，你别去啦。⇒要不，你别去了。

(そうでなければ、もう行くのをやめたら。)

(47) 镇多苹果你吃啱吃不啱？⇒这么多苹果你吃得了吗？

(こんなにたくさんのリンゴを食べられますか。)

(48) 这个玩意儿我拿动啱，他拿不动。⇒这个玩意儿我拿得动，他拿不动。

(これは私は持ち運べますが、彼は持ち運べません。)

例(44)～(46)は仮定の意味の用法で、例(47)(48)は可能の意味の用法である。普通話の中では、「他来了，咱走吧。」は二通りの意味(彼が来たので、行こう。／彼が来たら、行こう。)をあらわしているが、鄭開片方言では河南省の安陽方言(王琳(2010))と同じように「他来啦，咱走吧。／他来啱，咱走吧。」を使い分けて表現している。

### 3.5 过[kuɿ]

河南方言で使われている过[kuɿ]は普通話とほぼ同じである。経験相と実現相をあらわすことができる。

#### 3.5.1 経験

(49) 俺俩从有吵过架。⇒我们俩从来没有吵过架。

(私たちはいままで喧嘩したことがない。)

(50) 我丢过两回钱包。⇒我丢过两回钱包。

(私は二回財布を落としたことがある。)

过[kuɿ]が経験をあらわす場合、その用法は普通話と同じで、動詞の後ろに置き、軽声で発音する。

#### 3.5.2 実現

「V+过[kuɿ]」はもう一つの「動作がすでに終結した」という完成の意味を示す用法がある。3.5.1の経験の意味をあらわす場合、軽声で発音するが、完成の意味をあらわす場合には、普通話では、軽声か第四声で発音するが、鄭開片方言では、普通「过[kuɿ<sup>523</sup>]」という声調値で発音する。

(51) 我吃过饭啦。⇒我吃过饭了。



(私はご飯を食べた。)

(52) 他洗过澡啦。⇒他洗过澡了。

(彼はお風呂を済ませた。)

(53) 你吃过饭再走吧。⇒你吃过饭再走吧。

(ご飯を食べてから行こう。)

普通話と同じように、この「过」は空間動詞から文法化したもので、動作の完成を表現している。時制については過去の出来事にも使えるし、これからの出来事にも使える。

### 3.6 アスペクト助詞を使わなくてもアスペクト的な意味をあらわす場合

3.1～3.5 で中原官話鄭開片のアスペクト助詞の用法を考察した。分析からもわかるように、アスペクト助詞を使わなくても、アスペクト的な意味をあらわす用法が多々ある。孤立語の中国語としての特徴は、中原官話の鄭開片方言にも見出すことができると言えるだろう。

・墙上挂|一幅画儿。⇒墙上挂 着/了 一幅画。

・我买|两斤馍。⇒我买了两斤馒头。

・昨天我看|两个小时书。⇒昨天我看了两个小时书。

・他都死|半年啦。⇒他都死了有半年了。

アスペクト助詞を使わずにアスペクト的な意味をあらわす用法の特徴として、目的語が数量詞の修飾を受ける場合を挙げることができる。上記の用例の目的語「画儿、书、馍」の前にはいずれも「一幅、两斤、两个小时」などの修飾語がついている。これらの数量詞の修飾語がないと、アスペクト助詞を使わずにアスペクト的な意味をあらわすことができない。

なお、中原官話鄭開片方言の始動相「上[ʂɑŋ]开[k<sup>h</sup>ai]起<sup>h</sup>[tɕ<sup>h</sup>iai] (“起来”の融合形式)」と暫時相、試行相「V+一下儿(i ɕiar), VV+看/试试」の表現形式は準アスペクト助詞とされているが、その用法と表現形式について、3.7 と 3.8 でまとめてみた。

### 3.7 始動相をあらわす形式

上[ʂɑŋ]开[k<sup>h</sup>ai]起<sup>h</sup>[tɕ<sup>h</sup>iai] (“起来”の融合形式)はいずれも始動相をあらわす形式である。ただ同じ始動相というアスペクト的な意味を持つてはいても、用法にはそれぞれ特徴がある。

(54) 恁爸还有回来[lɛ], 你咋可吃上/开/起<sup>h</sup>啦? ⇒你爸爸还没回来呢, 你怎么就开始吃上了?

(お父さんがまだ帰っていないのに、もう食べ始めたの?)

(55) 我还没有咋说[lɛ], 他可哭开/起<sup>h</sup>/\*上啦。⇒我还没有怎么说呢, 他就哭起来了。

(私はまだあまり言っていないのに、彼はもう泣きだした。)

(56) 我将到家, 外边儿就下起<sup>h</sup>/开/\*上啦。⇒我刚到家, 外边儿就下起雨来了。

(私は家に帰ったとたん、そとは大雨になった。)

(57) 那俩人又说起<sup>h</sup>/开/\*上话啦。⇒那两个人又说起话来。

(あの二人はまた話しました。)

(58) 电脑还没有调好[le], 他急著可用上/开/起<sup>h</sup>啦。⇒电脑还没有调好, 他就急着开始用起来。

(パソコンはまだ設定できていないのに、彼はもう焦って使い始めた。)

(59) 一提起<sup>h</sup>/\*开/\*上这事儿, 我都气儿不打一处来。⇒一提起这件事, 我就气儿不打一处来。

(このことを話題にしだすと、腹が立つ。)

上[səŋ]开[k<sup>h</sup>ai]起<sup>h</sup>[tɕ<sup>h</sup>iai]の三つは始動相をあらわすが、起<sup>h</sup>[tɕ<sup>h</sup>iai]のほうがよく使われている。普通話の「起来」の派生用法の「動作が始まり、引き続き進展することを表す」という用法とほぼ同じである。开[k<sup>h</sup>ai]はただ動作の始まりだけに注目する用法で、引き続き進展するという意味までは持っていない。上[səŋ]の用法は最も制限されている。「吃, 用, 玩, 练…」などの意志動詞の後に置き、本来し始めるはずではない動作が始まったというニュアンスを持っている。上[səŋ]开[k<sup>h</sup>ai]起<sup>h</sup>[tɕ<sup>h</sup>iai]のいずれも文末に「啦」をつける。

### 3.8 暫時相、試行相をあらわす形式

「V+一下儿(i ciar), VV+看/试试」というかたちで暫時相、試行相のアスペク的な意味を持っている。

(60) 你问他一下儿。⇒你问他一下儿。

(ちょっと彼に聞いてごらん。)

(61) 他叫我看了看。⇒他叫我看了看。

(彼は私に見せてくれた。)

(63) 这叫啥你猜猜看。⇒这叫什么你猜猜。

(これは何であるのかあててみてください。)

(64) 你用一下儿这个电脑试试。⇒你用一下这个电脑试试。

(このパソコンを使ってみてください。)

(65) 你用这支笔写写试试。⇒你用这支笔写写。

(このペンを使って書いてみてください。)

暫時相と試行相のアスペク的な意味をあらわす場合に使われている「一下儿」と「VV看/试试」は他のアスペク助詞ほどではないが、実質的な意味が稀薄化しているので、「一下儿」と「看/试试」も準アスペク助詞と称する研究もあった。現に鄭開片方言では、動詞の重ね型で暫時、試行のアスペク的な意味をあらわす場合、動詞の重ね型の後に「看/试试」をつけるのがほとんどである。

## 4. まとめ

以上で主に中原官話鄭開片方言区のアスペク助詞の用法を分析、考察してみた。鄭開

片方言でよく使われているアスペクト助詞は[ɿ]、著[tʂu]、啦[la]、啵[lau]、过[kuɿ]の五つである。さら視野を広げて始動相と暫時相、試行相の表現形式も考察してみた。鄭開片方言区のアスペクト的な意味とその表現形式をまとめると、以下の【表】に示すことができる。

【表】	アスペクトの意味	文法形式
非完成	始動相	V+上[shang]开[kai]起[tɕ'iai]
	持続相	①V+[ɿ]+O②V+著③V+啦④V
	進行相	①V+O+[ɿ]②V 著
	将然相	①V+[ɿ]②V+啦
	暫時相・試行相	①V+一下儿②VV 看/试试
完成	経験相	V+过
	実現相	①V +O+啦②V+过③V+啵④V
	完了相	①V+啦②V

普通話のアスペクト助詞は主に「了」「着」「过」があるが、鄭開片方言区では主に五つのアスペクト助詞が使われている。普通話との対応関係を見てみると、以下の通りである。

- ・ [ɿ]、著[tʂu] ⇒ 着
- ・ 啦[la]、啵[lau] ⇒ 了、了+α
- ・ 过[kuɿ] ⇒ 过

鄭開片方言区で使われているこの五つのアスペクト助詞は通時的にそれぞれどのような様相を呈しているのか、普通話と比べて、動詞のタイプによるその使い方の棲みわけはどのようになっているのかなどについての分析は、今後の課題にしたい。

<sup>1</sup> 二十四の県と市はそれぞれ以下のとおりである。河南省：鄭州市、開封市、開封県、濮陽市、濮陽県、滑県、長垣県、封丘県、原陽県、蘭考県、民権県、杞県、通許県、中牟県、尉氏県、荊陽市、新密市、新鄭市、鄆陵県、南樂県、内黄県、清豊県；河北省：魏県の東部、大名県。

<sup>2</sup> <http://page.renren.com/601458861/album/803916582> の《中原官話與地圖》を参照。浚県の東部、延津の東南部もこの方言区に入っている。地図のタイトルは「中原官話鄭汴片圖」となっているが、開封はかつて「汴」と略称されたからである。

<sup>3</sup> ほかに「V+上[ʂɑŋ]开[k'ai]起[tɕ'iai]（“起来”の融合形式）」の形で「始動相」、「V+一下儿(i ciar), VV 看/试试」の形で「暫時相、試行相」を表す用法もある。始動相として使われている「上[ʂɑŋ]开[k'ai]起[tɕ'iai]」は普通話と比べて、文法化がさらに進んでいるので、これらの方向補語から発展してきた文法詞を準アスペクト助詞とする研究(辛永芬(2006))もあった。また、暫時相と試行相というアスペクトの意味をあらわす場合に使われている「一下儿」と「VV 看/试试」も他のアスペクト助詞ほどではないが、実質的な意味がかなり稀薄化しているので、準アスペクト助詞と称する研究もあった。

<sup>4</sup> 構造助詞として用いる場合、以下のように、それぞれ「的、地、得」の使い方がある。

- ・ 我[ɿ] [ɿ]? ⇒ 我的呢? (私のは?)
- ・ 他高兴[ɿ]笑起h了。⇒ 她高兴地笑起来了。(彼女がうれしそうに笑い出した。)
- ・ 我今天吃[ɿ]可饱。⇒ 我今天吃得可饱了。(私は今日お腹いっぱい食べた。)

---

調査協力者

1. 男性 63歳 鄭州生まれ、ずっと鄭州に生活している。親の故郷は洛陽である。
2. 女性 61歳 鄭州生まれ、ずっと鄭州に生活している。親の故郷は平頂山である。
3. 男性 45歳 鄭州生まれ、18歳～24歳まで青島で軍隊生活。親は鄭州生まれである。
4. 女性 43歳 鄭州生まれ、ずっと鄭州で生活している。親は鄭州生まれである。
5. 男性 36歳 鄭州生まれ鄭州育ちである。親も鄭州生まれである。
6. 女性 35歳 許昌生まれ鄭州育ちである。許昌で5歳まで生活していた。

<参考文献>

- 李荣 1957 《汉语方言调查手册》北京科学出版社
- 中国语言资源有声数据库建设领导小组办公室 2010《中国语言生活绿皮书 国家语言文字工作委员会发布 中国语言资源有声数据库调查手册 汉语方言》商务印书馆
- 贺巍 1965 获嘉方言的韵母变化《中国语文》第4期
- 贺巍 2005 中原官话的分区（稿）《方言》第2期
- 辛永芬 2006 《浚县方言语法研究》中华书局
- 王琳 2010 安阳方言中表达实现体貌的虚词《语言研究》第9卷第1期
- 梅祖麟 2007 《梅祖麟语言学论文集》商务印书馆
- 乔全生 2000 《晋方言语法研究》商务印书馆
- 郭熙 2005 河南境内中原官话中的“哩”《语言研究》第25卷第3期
- 马庆株 1981 时量宾语和动词的类《中国语文》第2期
- 曹广顺 1995 《近代汉语助词》语文出版社
- 卢甲文 1992 《郑州方言志》语文出版社
- 谷向伟 2005 林州话中表示可能的情态助词“啵”《殷都学刊》第4期
- 陈鹏飞 2005 林州方言“了”的语音变体及其语义分工《南开语言学刊》第1期
- 吴云霞 2006 万荣方言动词体貌考察《语言科学》第5卷第2期
- 段亚广 2008 河南方言研究的历史和现状《周口师范学院学报》第25卷第3期
- 李伟 2010 郑州方言中的动态助词研究《东京文学》第9期
- 高永奇 2001 浚县方言中的体貌系统初探《殷都学刊》第2期
- 宋玉柱 1988 存在句中动词后边的“着”和“了”《语言研究论丛》第五辑
- 陈前瑞 2008 《汉语体貌研究的类型学视野》商务印书馆
- 木村英树 1983 关于补语性词尾“着/zhe/”和“了/le/”《语文研究》第2期
- 丸尾誠 2007 「中国語にみられる完了と結果の接点—“V了”と“V着”を例として—」『日中対照言語学研究論文集 — 中国語からみた日本語の特徴、日本語からみた中国語の特徴—』彭飛編, 和泉書院
- 沈力 2012 「山西方言から北京語へ—継続相を中心に—」第30回中日理論言語学研究会レジュメ
- 太田辰夫(1958)『中国語歴史文法』江南書院